

死の木

著者、アーネストエンジェリー牧師

今日の題名は〈死の木〉です、そして、いのちの木があります、もしあなたの名前が、いのちの木に書かれていないのであれば、あなたの名前は死の木の中にあるということです、あるのは二つの木だけです。

神は人の子を初めに創造されたとあります、そして創世記、第2章8節にこのように書かれています。“神である主は東の方エデンに園を設け、そこに主の形造った人を置かれた。”注意してよく読んで下さい、形造ったとあり、神は土地のちりて人を形造り、それを神は見て、それをよしとされた、とあります。(創世記2：7、1：25)です。考えてみてください、何を彼らが持っていたか！彼らはすべてをもっていたのです、すべてのもの、そして、いのちの木です、よく注意してこれを読んでみてください、園の中央には、いのちの木、それから善悪の知識の木があります、このことに多くの人は気づいていません、そこにはいのちの木があったのです、なぜイブはいのちの木に引き寄せられなかったのでしょうか！またなぜ彼女はいのちの木のまわりで時を過ごさなかったのでしょうか！今日も同じ理由で多くの人々がいのちの木のまわりで時を過ごしません、そこに引き寄せられないのです、イエスが私たちのいのちの木であり、彼らが私たちのいのちの木です、イエスは言われました、私がいちです、そしてもっと豊かないのちを与えます、もし人の子があなたを自由にすれば、あなたは確かに自由になるのです、そしてそれから、知識の木があります、善悪の知識の木です。よく考えてみてください、すべてのすばらしい木の中にその一つの醜い木がありました、その醜い木にイブは引かれていったのです、イブのことを語っています。(創世記2：16)“神である主は人に命じて仰せられた、「あなたは園のどの木からでも思いのまま食べてよい。」とあります、何とすばらしい特典なのでしょう、神はすべて私たちに必要なものを備えられておられます、続いて17節”しかし、善悪の知識の木からはとって食べてはならない、それをとって食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」とあり、罪は死です、罪は殺し、罪は滅ぼします、決してあなたはこれを忘れる事がないように。

それから今日、多くの牧師や教師が私たちは罪から自由になることができないと主張していますが、もしそれが真実であれば、誰も天の御国へ入ることはできません、なぜなら、罪は天の御国へ入ることはできないと書かれているからです。それから、もしあなたが罪を犯しているな

らば、あなたの魂は死んでいるのです、“罪を犯した者はその者が死ぬ”と書かれているからです、そして創世記の第3章に蛇がイブに話しかけています、“あなた方は園のどんな木からも食べてはならない、と神は本当に言われたのですか！”女は蛇に言った。“私たちは園にある木の實を食べてよいのです。しかし、園の中央にある木の實について、神は、あなた方はそれを食べてはならない、それに触れてもいけない、あなた方が死ぬといけないからだ、と仰せになりました。”しかしながら、ある人々は私たちは罪から逃れることはできない、自由になることはできないと言っています、しかし、聖書に主である神はそれを食べてはいけない、触れてもいけないと言われています、あなた方が死ぬといけないからだと言っています。“そこで蛇は女に言った、あなた方は決して死にません、この言葉は今日に至るまで悪魔である蛇が人々に語っていることばです、キリスト信者にも語っていることばです、誰も罪から自由になることはできない、なぜあなたが地獄に落ちることがあるのでしょうか！あなたは天国へ行くのです、あなたは必ず天国へ行くのです、”そこで女が見ると、その木はまことに食べるのによく、“とあります、彼女は悪魔にあざむかれたのです、それは食べるのによいものではなく、悪魔が彼女にそう思わせたのです、それは目に慕わしくとあり、悪魔は罪を一見美しく見せますが、それは美しいものではありません、遂にそれは灰のように滅びてしまうのです、そこにはいのちがないからです、罪の中にいのちはありません。聖書ははっきりとその人々は死んでいるとしています、彼らは罪の中で死んでいるのです、”賢くするというその木はいかにも好ましかった。“とある通り、それが理由で多くの人々が悪魔の力の下にあり、オカルトの力の下にあり、賢くするという悪夢の力の下にあるのです、しかしながら神の目にとっては賢いものではなく、遂に最も愚かな者になってしまうのです、これが神が彼らを見ている真実の姿です、しかしながら、彼らは悪夢の力を慕い求めて星占いや魔術を求めてさまよい歩いています、この世は悪魔の暗闇の力で満ちあふれています、そして人々はその賢くなるという木を求めて知識を探しています、しかし真実の知識の木は一つだけです、神のことばだけです、それだけが真実の知識の木であり、永遠のいのちの知識の本です、その本の中には偉大な神の知識があり、偉大な神の愛の知識が満ちあふれています。

死の木、その中にあなたの名前が入っているのではありませんか！多くの人々の名前が、その死の木の中に今日あります、永遠の死です、もう一度言います、永遠の死です、永遠の暗闇です、そしてその木を悪魔は美しく飾り立て人々を欺き、引き寄せます。アダムとイブは完

全な永遠のいのちとともに完全な人生を持っていました、彼らは天国に住んでいました、主である神は天国と同じものをエデンの園に造られていたのです。彼らは永遠に死ぬことはなく、神性の血を静脈の中に持っていました、彼らは現在の私たちと同じ血を持っていたのではなく、神性の血を持っていたのです、彼らが永遠に生きるためその血が必要だったのです、彼らがもし、罪を犯していなかったら彼らは今日も永遠に生きていたのです、彼らはその若さを保ち、永遠のいのちを持っていました、一つの罪がそれを滅ぼし、一つの不従順が罪を生みました、その一つの罪によって彼の名、そしてあなたの名前は死の木の中に書きしるされています。すべて神に対して罪を犯している人は神に逐らているのであって、あなたは死の木の中に名前が書かれています、そしてそこには神のことばがあります。“罪を犯した者はその者が死ぬ”しかし、人々はこのことばに対して盲目であり、それが見えません、悪魔が彼らを欺いているからです、欺く霊が彼らを欺き、悪魔と同じように彼らを変えていきます、これが理由で現在、私たちの世界には多くの暴力や人殺しがあります、父や母を殺す者、自分の子供を殺す者、これはまさしく悪魔の姿であり、悪魔が彼らを悪魔の姿に変えてしまったのです。悪魔は彼らの魂の中に住み、そこから彼らをコントロールします、殺せ、殺せという声とともに悪魔は彼らに話しかけるのです、悪魔がそれを計画し彼らはそれを実行に移します、そして彼らは逃げ続けることができると信じています、彼らは一人を殺し、二人目を殺し、3人、4人、5人と殺し続けるのです、彼らは何かによってそれを止められるか、法律によって止められるかでないと終わりを知りません、彼らはその人殺しの悪魔の霊を彼らのただ中に持っています、酒や麻薬に支配される者も同じです、それらの悪魔が彼らのただ中で彼らをコントロールします、麻薬の霊、そして煙草を吸うニコチンの霊、それらは麻薬、ニコチンを手に入れないと満足しません、それが理由で彼らはそれを止めることに関してとても苦勞するのです、しかしあなたはそれらのものから自由になることができます、多くの人が私の教会のサービスの中で一瞬のうちに一つの祈りとともに自由になっています、何年もの間、たばこを吸っていた人がその瞬間にそれを求めなくなるのです、同じように麻薬や酒に犯されている人々も一瞬にして自由になることができます、神の力はまさしく偉大です、イエスの聖なる血は偉大です、有名な歌にある通りです、何が私たちの罪を洗い流してくれるでしょう、イエスの血以外に何もありません。

アダムとイブが罪を犯した時、死の木の中に名前が記された時、その時から彼らはその罪を自分で取り除くことができなくなったのです、な

ぜでしょう！そこにはイエスの十字架のカルバリの救いがなかったからです、いつの日か、すべての人が救いの道を失うことになり、その日にはすべての人が死の木から彼らの名前を取り除くことができなくなります、私たちは今日、世界中の人々に死の木からあなたの名前を取り除くことができることを伝えています、あなたは救いの道を持っているのです、私たちの主であるイエスが流された血を通して、その十字架を通して私たちは死の木から私たちの名前を取り除くことができるのです、もし彼らが罪を悔い改めイエスが十字架を通して私たちの名前を死の木から取り除かれたと信じるならば、あなたはいのちの木に帰ることができるのです、それはただイエスの血を通してできるわざであり、アダムとイブにはその道が開いていませんでした、神は彼らを神の存在の中から追い出されました、そこにはイエスの血が彼らを救う道が開いていませんでした、そこには神性の血が彼らの名前を死の木から取り除くことができなかったのです、主である神は、彼らにその時あなたは死ぬと言われました、聖書にはどこにも彼らが神に帰ったと示されていません、もし彼らが神に悔い改めて帰ったのであれば、聖書に示されていると思います。

ヘブル人への手紙の中の11章の中には多くの人、信仰の人々のことが書かれています、もしアダムとイブが神に帰ったのであれば、そこに示されているでしょう、しかし、そこにはアダムとイブの名前がありません、彼らの子供であるカインの名も死の木に書かれています、彼は彼の兄弟を殺しました、彼の名は死の木の中にあります、しかし、アベルの名はいのちの木の中にあります、あなたはアベルにいつの日か会うことができます、彼の名はいのちの木の中にあるのです、いのちの木と死の木があることをよく悟って下さい、そのいのちの木へ戻る道は、たった1歩だったのです、イエスはその道を私たちにはっきりと示され、その道を大胆に開いて下さいました、もしイエスはその道を私たちのために神性の血を流して開いてくださらなかったら、私たちはその道を見いだすことができなかったでしょう、私たちは今日、私たちの名前をいのちの木の中に見いだすことはできなかったでしょう、あなたがその名前をいのちの木の中に持つことができるのは、すべてカルバリ、イエスの故です。

父である神はそのひとり子を遣わされ、そのひとり子を信じる者が決して滅びないように永遠のいのちを開いて下さいました、アダムとイブは死の木から名前を取り除きエデンの園に帰りたかったでしょう、しかし、そこにはガードがあり、入ることができなかったのです、いのちの木は守られていてだれもそこには入ることができません、天使たちがそ

れを守り炎の剣が置かれていたとあります、彼らはただ泣き悲しんでいたのです、彼らはエデンの園へ帰る道を悟りませんでした、それは何年も何百年も経ったのちに人々に開かれたのです、それは何百年、何千年とたったのちに十字架の形をもって開かれました、その扉であり門は十字架を通して神のすべての愛をもって開かれたものです、彼のたったひとりのひとり子を人類のためにささげて、その十字架を通して門を開かれました、神はひとり子をささげなくてはならなかったのです、神はすべての愛をひとりを通して与えられ、ひとり子はそれを完成され、その代価を支払われました、エデンの園への門が開かれ炎の剣も天使たちからはなれ、扉が開きました、イエスはその偉大な愛とともにすべてを取り戻してくださったのです、そこには新しいサインが上がり、このように書かれています“誰であれ、来る者は来なさい”私たちの名前は一度は死の木の中にありました、そして、すべての人が罪を犯したのです、それで神の栄光に到達しませんでした、あなたの名前は今日、どちらにありますか！ ただふたつの木があり、死の木といのちの木です。

もしあなたが少しでも心に魂に罪を持っているならば、あなたは神を知りません、神のことばにはこう書いてあります、罪を犯した者はその者が死ぬ、そしてヨハネは罪を犯している者は悪魔の子だと書いています、それと同時にローマ人への手紙では、罪はもうあなたを支配しないとあります、そして、キリストの中にある者は罪に定められませんともあります、罪の意識は罪のあるところにあります、罪のあるところには罪の意識があるのです、天国は罪を責めます、ほんの小さな罪であれ責められるのです、もし、あなたがイエスの血で清められていないのであれば、あなたは心に罪を持っています、もしあなたが聖なる血の中に生きていないのであれば、あなたの名前は死の木の中にあり、罪を罪と知って犯す人はその名前がいのちの木にあっても、その時に消し去られます、あなたが罪を罪として知っていて、その上で罪を犯すならば、あなたはアダムとイブのようにいのちの木からその名前を取り除かれます、罪に戻る人も同じです、神は罪を忌み嫌い罪を認めることができません、神はイエスが十字架で死なれた時に、その罪の正体をはっきりと見ておられたのです、彼らは罪のゆえにイエスを殺しました、イエスがこの地上におられたときにイエスはこう言われました。（マタイの福音書7：13、14）“狭い門から入りなさい、滅びに至る門は大きく、その道は広いからです、そして、そこからはいつて行く者が多いのです。いのちに至る門は小さく、その道は狭く、それを見いだす者はまれです。”多くの人が皆、天国へ行くと信じていますが、皆が天国へ行くのではありません、イエスがこの地上におられたときに滅びに至る門は大きく、

そこから入っていく人が多いのですと言われました、現実には多くの人の名前が滅びの木のの中にあります。

ノアの時代には 8 人のひと以外すべての人の名前が死の木のの中に書かれていたのです、あなたの魂は荒れ果て、かれた場所となりそこには雨もなく死の力が支配しています、悪魔の中にいのちはなく、悲しい存在そのものです、私たちは罪の中にいのちがないことを悟るべきです、いのちではなく、滅びがあるのです、罪の中に正しい義はなく聖なる清さありません。

ノアの時代、8 人の魂だけを神は救うことができたのです、他の人はすべて滅びてしまったのです、ノアは 120 年の長い間、神の裁きと滅びを伝え、救われることを語りました、この地上にさばきが来ることを伝えたのです、今のこの時代に主の 2 度目の来臨とこの地上に来ようとしているさばきを伝えている状態と同じです、黙示録の中では多くの人がその忠告を無視して滅びています、彼らは神のことばに對して信じようとはせず、イエスの 2 度目の来臨を信じませんでした、ノアの時代、120 年の間神の裁きが来ることを伝えたノアに人々は耳を貸しませんでした、誰ひとりとして死の木から逃れて出てきた人はいなかったのです。

ソドムとゴモラの時代にはだった 3 人の名前だけがいのちの木の中にありました、すべてのほかの人は滅ぼされたのです、ロトの妻もそれに入っています、彼女はアダムとイブのことを知っていたし、そこには滅びがあることも知っていたのです、しかし、彼女は悪魔に心を欺かれたのです、彼女は罪の中にひかれるものを見だしソドムとゴモラの人々と同じようになりました、彼女は天使たちによって後ろを振り向かないように忠告されていたのです、しかし、彼女はそれを無視して滅びました。

もし、神の義のために生きることを求めないならば、あなたは神の聖さの中に生きることを求めません、あなたは生きることはありません、ふたりの天使が彼女をソドムとゴモラから連れ出そうとしていたのです、おそらく、その両手をつかんで連れ出そうとしていたことでしょう、しかし彼女は後ろを振り向いて罪を求めたのです、人々の心の中にはかたくなな心、罪を求める心があり、この世の欲を求める人は後ろを振り向きます、もしこの世を求める人なら、それを追いかけるのです、どれだけ天使たちが助けようとしても父である神がひとり子を遣わしても、ダメなものはだめなのです、彼らがこの世を愛するなら、主が言われたように、そこには父を愛する愛はありません、あなたの心の中にひとかけらの罪でもあるなら、あなたが認める認めないにしろ、あなたはこの世を愛しているのです、” 罪を犯した者はその者が死ぬ ” とある通りです。

ノアの時代、8人の人だけが救われました、そしてふたつの都市は滅ぼされました、このふたつの都市の中にどれだけの人がいたか！ 神はさばきをこの町に示されました、神はその裁きの前に正しい預言者を遣わされ、正しい牧師や教師を送られ、その忠告をこの町に示しておられたのです、しかし今日、多くの牧師は神の正しいさばきを伝えません、彼らは罪から自由になって生きている人たちではなく、神の恵みの中に生きている人たちでもありません、彼らは人々に正しい福音を正しく伝えていないのです、今日多くの牧師たちはすべての人に罪があると伝えていますが、それらを伝えている牧師たち自身が罪を犯しているからです、彼ら自身がその罪を隠しているからです、しかしそれは聖書が語っている真理ではありません、聖書ははっきりと罪を犯した者はその者が死ぬとあります、罪を犯した者はその者が死ぬのです、神よ、私たちを助けてください、この終わりの時代にいる私たちを助けて下さいと私は祈ります。

さて私たちは次にこのような物語を聖書の中に見ることが出来ます、旧約聖書にあるアカンの物語です、イスラエルの民はエリコ〔ジェリコ〕の町に入って行きます、その時に彼らは決してその町から自分たちのために何も盗んではいけないという警告を受けていました、しかしアカンはその町の中に多くの宝物を見た時に自分のためにそれらを盗みました、そしてそれを自分のテントの中に隠したのです、そのことは彼の命を失うことになりました、その罪は彼の名前を死の本の中に書きしるすことになりました、神はさばきとともに天から下りて来られました、アカンと彼のすべての家族とすべての子供たち、神は彼らすべてを滅ぼされました、神は彼らのすべてを滅ぼされたのです、彼らの持ち物はすべて焼かれてしまいました、このように神は罪とのかかわりを完全に断ち切られるのです、神は旧約聖書の時代、すべてのことをもって罪をイスラエルの民から断ち切ろうとされたのです、しかし現実には何がこの罪を断ち切ることができたでしょうか！ 何が私たちを悪魔の力から断ち切ることができたでしょうか！ 何が私たちを純粹に清くすることができたでしょうか！ 何が私たちを欺きの心から自由にすることができたでしょうか！ 何が私たちを罪の力から解放することができたでしょうか！ 何が私たちを現実に救うことができたでしょうか！ ただただイエスの血だけ、ただただイエスの血だけです、聖書のみことばにある通りです、しかしながら多くの人々はみことばに耳を貸そうとはしません、私はここでただ癒しと奇跡のために祈っているわけではありません、私はここで神のことばをあなたがたに伝えているのです、神は神のことばを送られ、彼らを癒された、彼らを癒されたとあります、もしあなたがあなたの体

にいのちを求めるなら、あなたはみことばを通して求めなければいのちを得ることはできません、生きた神のことば、血のことばを通して求めなければなりません、多くの人々は神のことばを心に受け入れません、彼らの名前は死の木の中にとどまるのです、彼らが死ぬときには彼らの名前は死の木の中にとどまったままです、そして彼らは永遠の死の中に永遠の裁きを見いだすのです、彼らはアダムとイブのように死の木から彼らの名前を取り除くことができません、いのちの木にとても近かったのに、すぐそばにそれはあったのに彼らはそれを求めませんでした、人々は死の木の中に彼らの名前を持ったまま死んでいきます、いのちの木は彼らのすぐそばにあったのに、彼らはそれに対して受け入れる心を持っていませんでした、イエスキリストの愛の声を何度も聴くことができたのに彼らはそれを拒みました、悪魔と悪霊が彼らを永遠の暗闇の中に引きずり込みます、そこには永遠にとまることのない苦しみが待っています、永遠の裁きの火、そして地獄の炎が彼らを待っています、すべての罪人の人々、罪に再び戻った人、そしてすべての不信者には永遠のさばき、燃えるさばきの炎、永遠の苦しみが彼らを待っています、私はあなたに言いましよう、こと罪に関して神は大変な怒りをもっておられます、罪に対して神の怒りは炎のように燃えています、聖書ははっきりとこのことについて語っています、神の怒りの中に落ちることは大変なことです。

聖書の中にはこのような物語があります、ある金持ちがいました、彼の名前は死の木の中にあつたのです、誰か彼を救い出すことができたでしょうか！ 主である神はメッセージとともに彼に死の木から彼の名前を取り除くことのできる人生を示されました、そこにはメッセンジャーがいたのです、そのメッセンジャーとはラザロのことです、彼は金持ちの食卓から落ちるもので腹を満たしたいと思っていました、しかし金持ちはそれを見ていて見ないふりをしていたのです、この金持ちは暖かい心がありませんでした、この金持ちはこの貧しい貧乏人に情けをかける心がなかったのです、しかし彼は気がついていませんでした、人生の中にはいのちの救いのために開かれている扉がいつも開いていたのです、その救いに導く暖かい心はいつもいのちの救いのために開かれている扉でした、そこには真実の神に導くための道が開いていたのです、この金持ちの心の中にはあわれみの心がありませんでした、彼は多くのお金を持っていました、そして彼の心は満足していたのです、そして彼が死ぬときに彼の名前は死の木の中にあつたことに気がついていませんでした、悪魔はこのようなことを喜び、このような人が死ぬとき彼らの死を喜ぶのです、この金持ちはそのようにしていのちの木にとても近かったので

す、しかし彼はそれに気づいていませんでした、ラザロにはメッセージがあり、彼には物語がありました、もしその金持ちが一つのおわれみの心を持って彼を家の中に入れて少しの食べ物でも与えていたならば、ラザロにはいのちの救いのメッセージがあり、金持ちの名前を死の木から取り除くことができたのです、彼はいのちの木にとても近かったのに実はとても遠くにいたのです、そして聖書はそのことを明らかにしています、彼はハデス（地獄）で苦しみながら目をあげると、と書かれています、そして彼は父アブラハムにおわれみを求めました、私はこの炎の中で苦しくてたまりません、ですからラザロをよこしてください、ラザロが指先を水に浸して私の舌を冷やすようにと書かれています、しかしながら、その願いも地獄では受け入れられていません、彼は人生の中でおわれみをラザロに与えていません、地獄の中には燃える火の池があるのです、あなたの名前は今日、どこにありますか！ あなたは今日、このメッセージを聞くことができるのです、どちらの木の中にもあなたの名前がありますか！ イエスキリストが十字架の上で血を流されて死なれました、それはあなたの名前を死の木から取り除くためです、そしてあなたは永遠のいのちとともに永遠に生きるのです、イエスキリストはこのために大変な代価を支払われ、私たちのためにメッセージを送られました、しかし人々はイブのように耳を貸しません、またそれに対して愛の心も開きません、アダムも同じです、神の言われたことをすべて信じませんでした、イブは悪魔の声をはじめて聞いたことが間違いの始まりでした、悪魔に耳を貸す必要はなく、それよりも主である神のことばに耳をかすべきだったのです、もしあなたに聞く耳があるならば、御霊の言うことを聞きなさいと書かれています、あなたは悪魔の言うことに耳をかす必要はありません、悪魔はあなたを正しい道には導かないし、そこには永遠の命はありません、悪魔はイブを死の木に導きました、そしてイブはアダムを死の木に導きました、このふたりは手に手をとって死の木に向かって歩いて行きました、このふたりは見た目にはすばらしいカップルで素晴らしい結婚をしていたように見えただけでしょう、しかしその日には滅びの道があったのです、そこには地獄が待っていたのです、あの金持ちは地獄に落ちました、聖書に書かれているとおりです、もはやそこから出てくることはできません、死の木から遠ざかりなさい、死の木から遠ざかりなさい、このように神は私にメッセージをくださり、人々に忠告をしています、今いのちの木はどこにあるのでしょうか！ 神である主は、そのいのちの木を天国に持ち帰りました、いのちの木は今日、天国にあります、聖書にはヨハネが天国のことを語っています、そしてそこにはいのちの木があったのです、いのちの水とともにいのち

の川が流れています、しかしあなたの心の中にひとかけらの罪でもあるならば、あなたは永遠に生きることができません、罪がそれを滅ぼすからです、たった一つの罪がそれを滅ぼすのです、ちょうど一粒のイエスの血が罪人の魂を救うのと同じように、一つの罪があなたを永遠の滅びに落とします、罪はいのちを滅ぼすのです、このメッセージは終わることがありません、世界中に伝えなくてはならない、いのちのメッセージだからです、このメッセージがあなたの心の中に入ることを祈っています、死の木からいのちは出てきません、死の木、死の木、死の木の中にいのちはありません、その死の木は人の目にはとても美しく見えることがあります、とても引き寄せられるものもあります、しかしそこには滅びがあるのです、そこには悪魔のわざがあるのです、悪魔はイブにそのわざを使いました、イブの目には美しく見えたのです、しかしイブはそののちに何という代価を支払わなければならなかったことでしょう、彼女はのちに罪ののちに自分の子供の死を経験することになりました、彼女はそれまで死という存在を見たことがありませんでした、彼女は苦しみ、そして泣きました、何という悲劇をイブは知らなければならなかったのでしょうか、彼女はもう2度と彼女の息子に会うこともできず、その死の力の中に支配されていきました、これが人類の悲劇です、そしてもう一人の息子は彼の名前を死の木の中に入れてしまいました、罪とはのろいのことです、罪とは呪いのことです、この呪いを取り除くことのできるのはただイエスの流された血の力です、これ以外に道はありません、彼が呪いを取り除くことのできるただ唯一の人です、彼は私たちのために呪われた者となって呪い自体を私たちから取り去って下さいました、彼以外に救いの道はありません、“この方以外には、誰によっても救いはありません、世界中でこの御名のほかには、私たちが救われるべき名としては、どのような名も人間に与えられていないからです。”この方以外に死の木からあなたの名前を取り除くことのできる人はいません、彼がいのちの木です、いのちの木は彼イエスがこの地上に来られるまで、この地上から取り除かれていたのです、いのちの木、救いの木、助けの木、愛の木、この地上から栄光へと導く道を示した木、何とすばらしいビジョンがそこにあることでしょうか！もしあなたの名前がその木の中にあるのならば、そこにはいのちがあります、もしあなたが天上と話しをすることができるならば、天国はあなたにその現実性を示すことでしょう、もしあなたが悪魔と話しをすることができるならば、その真実を否定するでしょう、どこにあなたの名前がありますか！いのちの書の中にあるのではなく、死の木の中にあるのではありませんか！神に祈ります、このメッセージを聞いているすべての人々に対して神であるあなたが動い

てくださることを祈ります、彼らを正しい道で責めて下さい、彼らを正しい神に導いて下さい、私はすべて魂が救われてない人々に、そして罪に再び戻った人々に呼びかけます、今日あなたの魂に神を受け入れて下さい、救いがなくなる夜が来る前にあなたの魂を神の御前に開いて下さい、イエスがいのちの木です、彼は命を投げ出してあなたを死の木から救い出して、いのちの木へ導こうとされたのです、あなたは今日、死の木からその名前を取り除くことができますのです、今日という日に、その救いがあなたの手の届かないところに行ってしまう前に、現実に天国があり、現実に永遠のいのちがあります。

救われている人、救われていない人、私とともに神に祈ってください、現実に救われている人も私とともに救われていない人々のために祈りをともにして下さい、神様、私はあなたの御前に来ます、私は私の名前が死の木の中にあることを知っています、永遠の死です、永遠の裁きです、私は罪によって呪われた者です、しかしイエスが来て、その呪いを取り除いてくださることを知っています、私はイエスの流された血の力によって罪が赦されることを知っています、私は私の罪を告白します、すべての私の罪を告白をします、そして私は信じます、イエスの血が私の罪を清めてくださることを信じます、私の罪を赦して下さい、イエス私の心に入って下さい、たった今、私の心に入って下さい、ハレルヤ、私の名前がいのちの木の中に入りました、永遠にいのちの木の中に入りました、もうそこには死がありません、もうそこには暗闇そして滅びがありません、神に心から感謝します、私は自由になりました、神の子が自由にするとき私たちは自由になるのです。

さて病と病気を持っている人々、エイズをもっている人々、癒されてください、神はイエスを通して人々を癒して下さいます、死の力があなたの中に動いている人々、あなたはいのちの木を受けることができます、そこにはいやしがあり、霊的な癒し、肉体的な癒し、もしあなたがイエスを通して神にすべての心を与えたのであれば、どのような病気をもっているても、神は必ずあなたを癒して下さいます、世界中の多くの人々がこのイエスのミニストリーを通して癒されています、主である神よ、私はあなたの御前にエイズの病気、現代の医学で治すことのできない多くの病と病気をあなたの御前に持ってきます、イエスキリストの聖なる名によって、私は天上からの権威とともに生きた神に仕える者として、たった今、神の力をあなたに注ぎます、癒されなさい、聖なる血の名によって、癒されなさい、聖なるイエスの血の名によって祈ります、今、癒しの力が流れ出ています、その力を受け入れてあなたの体がよくなるように祈っています、もしあなたがエイズの病をもっている人であれば、

あなたの家族全体が良くなることを祈ってください、あなたの病気がいやされたならば、手紙を書いて知らせて下さい、そして病院に行ってエイズがいやされたことを確認してください、私たちはそれらの神のあかしを待っています、神の奇跡は生きています、神を通して私達には不可能なことはありません、しかしあなたは罪から自由になってそこにとどまらなくてはなりません、罪を犯した魂はその者が死ぬとあるからです、あなたは死の木から去って、いのちの木の中にあなたの名前をとどめておかなければなりません、あなたの名前はいのちの書の中にあるのです、イエスが私たちの命です、イエスなくして私達にはいのちはありません、今日、神の祝福をあなたに。